

2005年3月期  
**決算説明会**

2005年4月28日

**沖電気工業株式会社**

# 本日のご説明内容

**OKI**

## 1. 2005年3月期決算

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| 1) 決算概要   | 4) CFの状況            |
| 2) P/Lの状況 | 5) セグメント情報(旧セグメント)  |
| 3) B/Sの状況 | 6) 2006年3月期 業績予想の概要 |

## 2. 中期経営戦略(2005、06年度)

- 1) セグメントの変更
- 2) 情報通信融合事業強化に向けての組織改革
- 3) 情報通信システム事業  
金融      通信キャリア      公共      エンタープライズ
- 4) 半導体事業
- 5) プリンタ事業

## 3. 中期経営目標(2005、06年度)

- 1) 経営目標(新セグメント)
- 2) 設備投資・R & Dおよび人員の状況

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

# 2005年3月期 連結決算概要



- 連結売上高は前期比343億円(5.2%)増の6,885億円
- 当期純利益は前期比99億円増の112億円、3円の復配
- 営業利益(前期比56億円、26%増)、経常利益(前期比87億円増)とも増益

(金額単位:億円)	04/3期 実績(A)	05/3期 実績(B)	差異 (B - A)	05/3期 10/28公表(C)	差異 (B - C)
売上高	6,542	<b>6,885</b>	343	7,100	215
営業利益	216	<b>272</b>	56	290	18
経常利益	125	<b>212</b>	87	210	2
当期純利益	13	<b>112</b>	99	100	12
1株当り当期利益	2.17円	18.27円	16.10円	16.33円	1.94円
総資産	6,096	<b>6,080</b>	16	-	-
株主資本	1,105	<b>1,248</b>	143	-	-
1株当り株主資本	180.66円	204.11円	23.45円	-	-
有利子負債	2,914	<b>2,652</b>	262	-	-

# 2005年3月期 P/L概要

**OKI**

## 【比較連結P/L】

(金額単位:億円)

	04/3期	05/3期	差異(増減)
売上高	6,542	6,885	343
(売上原価率)	(74.1%)	(73.2%)	(0.9%良化)
売上原価	4,844	5,043	199
販管費	1,482	1,570	88
営業利益	216	272	56
営業外収支	91	60	31
経常利益	125	212	87
特別利益	99	42	57
特別損失	201	69	132
税引前利益	23	185	162
法人税等	10	73	63
当期純利益	13	112	99

## 連結売上高

(億円)

	04/3	05/3	差異
情報	3,603	3,358	245
通信	1,046	1,353	307
デバイス	1,322	1,507	185
その他	571	667	96

## 連結営業損益

(億円)

	04/3	05/3	差異
情報	240	143	97
通信	34	79	45
デバイス	23	120	97
その他	28	40	12
本社・消去	109	110	1

## 特別損益の主な内訳

(億円)

	04/3	05/3
有価証券等売却益	16	30
固定資産売却益		12
代行返上益	83	
固定資産処分損	49	25
有価証券評価損	15	12
事業再編損	77	24
地震による災害損失	33	

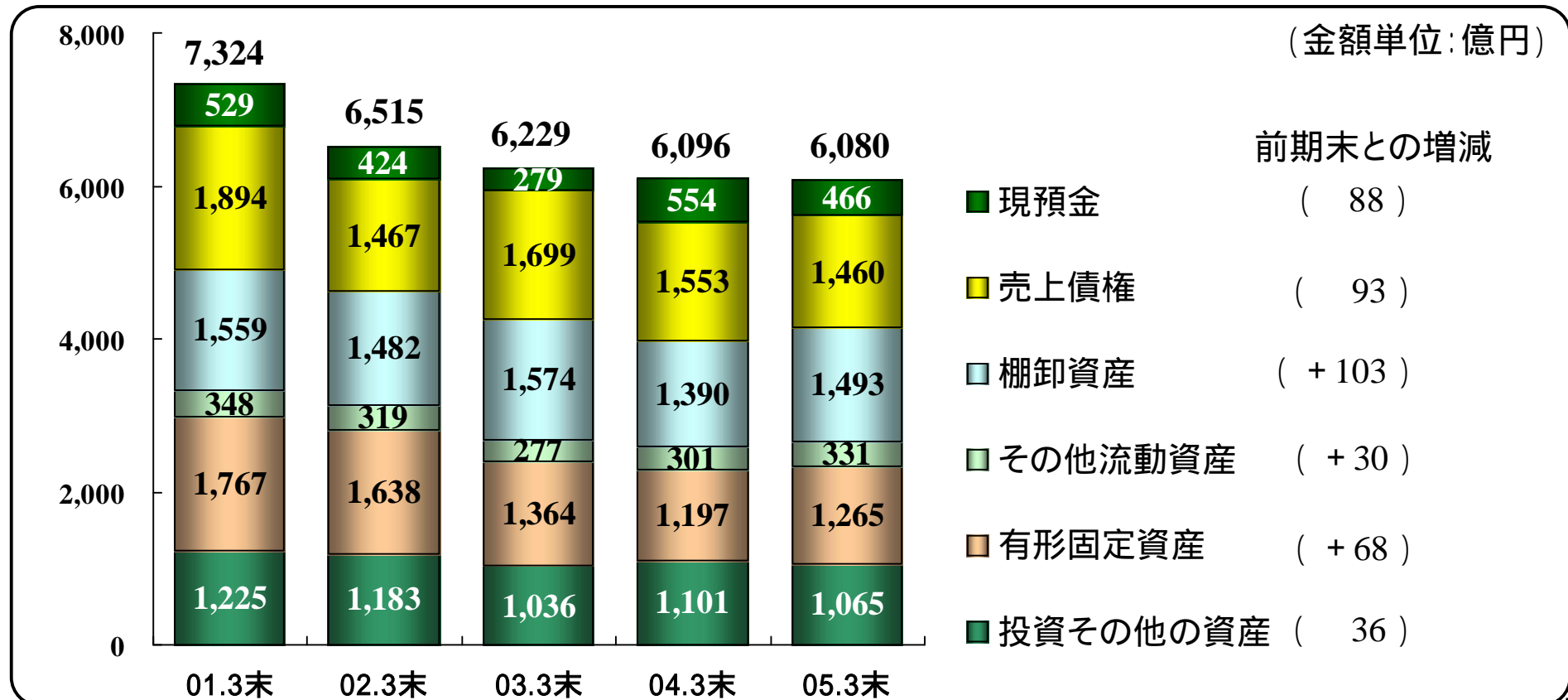
# 2005年3月期 B/S概要(1)



## 【貸借対照表 - 資産の部】

- FCFを管理指標とした資産効率改善への取組みにより主要回転率は改善
- 棚卸は2005年4月以降の売上に対応して対前年比103億円増加

	04/3期	05/3期	差異
総資産回転率	1.06	1.13	0.07良化
売上債権回転率	4.02	4.57	0.55良化
棚卸資産回転率	4.41	4.78	0.37良化



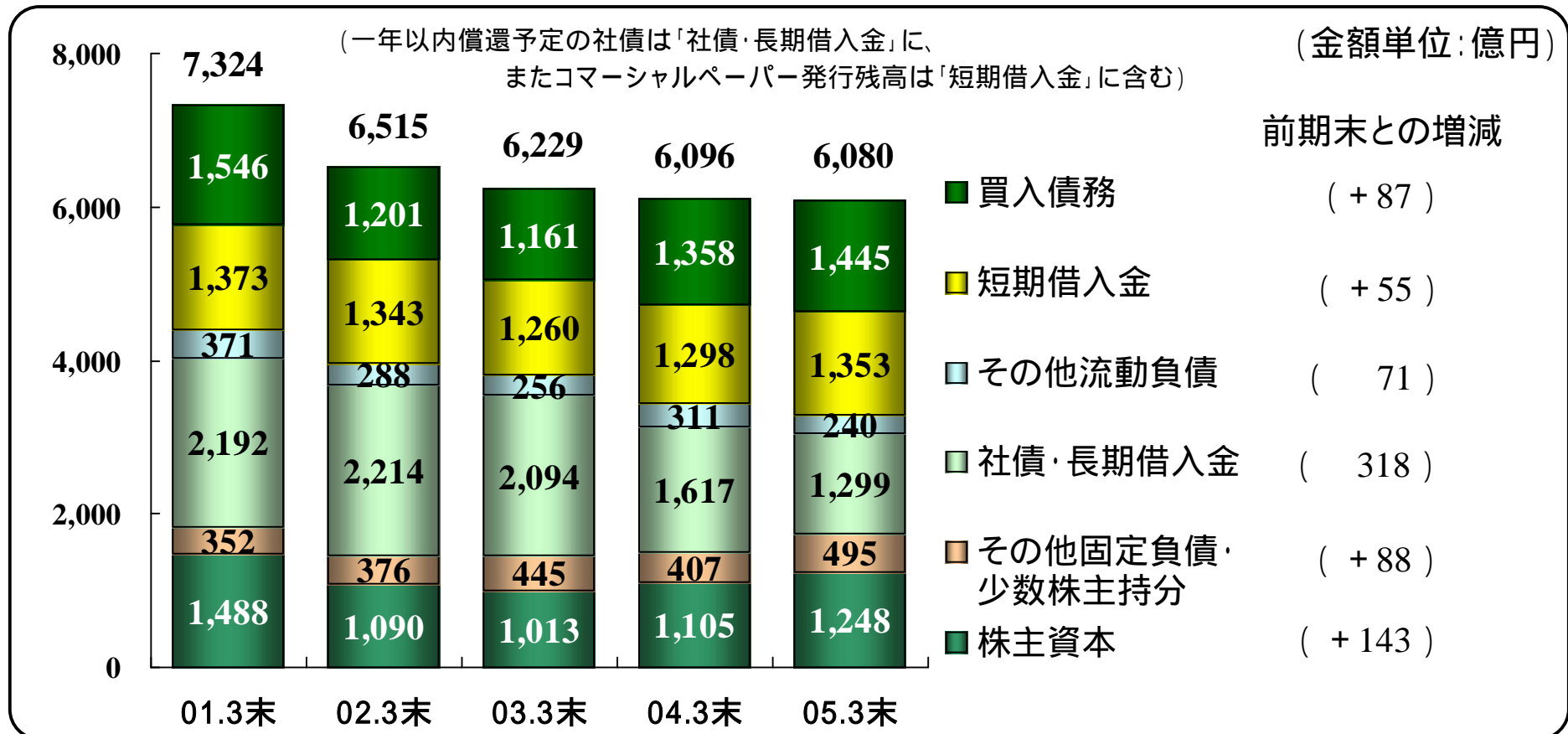
# 2005年3月期 B/S概要(2)



## 【貸借対照表 - 負債・資本の部】

- 有利子負債比率は4.2%良化、残高は262億円減少
- 株主資本は前期末対比143億円増で株主資本比率は20.5%へ

	04/3期	05/3期	差異
有利子負債残高(億円)	2,914	2,652	262減少
有利子負債比率(%)	47.8	43.6	4.2良化
株主資本比率(%)	18.1	20.5	2.4良化



# キャッシュ・フローの状況

**OKI**

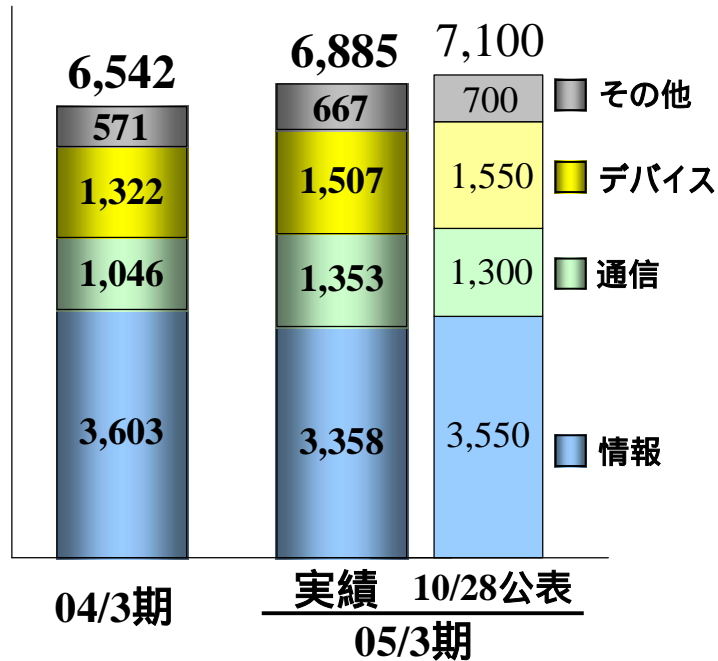
- 2004年11月ユーロCB200億円を発行したが、借入金の圧縮を進め、有利子負債は前期末対比262億円減の2,652億円へ (金額単位:億円)

	03/3期	04/3期	05/3期	対前年 増減	10/28 公表値
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	2	923	593	330	650
税金等調整前当期純利益	35	23	185	162	160
減価償却費	399	336	342	6	350
運転資金の増減	339	401	117	284	100
その他	23	163	51	214	40
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	43	192	415	223	450
設備投資支払額	235	240	339	99	360
その他投資活動	278	48	76	124	90
<b>フリー・キャッシュ・フロー( + )</b>	45	731	178	553	200
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	200	436	269	167	250
社債発行			200	200	
社債償還	227	399	150	249	150
長短借入金等の増減	26	37	319	282	100
<b>キャッシュ・フロー計( + + )</b>	155	295	91	386	50
<b>現金同等物等の期末残高</b>	293	581	494	87	531
<b>有利子負債の期末残高</b>	3,354	2,914	2,652	262	2,664

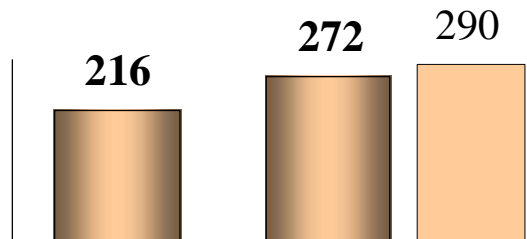
# 2005年3月期 セグメント情報

## 売上高

(単位:億円)



## 営業利益



## 売上高

【情報】前期比245億円減収

- 金融ソリューション 278:新紙幣対応需要減少
- 情報ソリューション 96:地震、台風等の災害による公共投資繰延べ、旅客・運輸業界の投資縮小
- 金融機関の投資遅延、プリンタの価格競争激化

【通信】前期比307億円増収

- 通信キャリアのIPネットワークインフラへの投資拡大

【デバイス】前期比185億円増収

- 液晶TV需要拡大によるLCDドライバLSIの売上増
- アミューズメント向けにP2ROM好調
- 年度後半からはドライバLSI等で価格低下圧力強まる

## 営業利益

通信、デバイスは売上増加により増益

情報は売上減少および開発・販売投資の増加により減益

# 2006年3月期 業績予想の前提

**OKI**

## 【経済見通し】

- 在庫調整完了、需要回復等で、一部生産の回復が見られるものの、IT関連投資の停滞などにより景気回復に一服感あり、下期より回復期待
- 中国動向などによる輸出の減速や、原油および原材料の高騰が懸念材料

## 【当社の事業環境】

- 情報通信 通信キャリアの投資はFTTHを中心に拡大  
金融機関のIT投資はセキュリティ中心に回復の兆し  
金融はじめ情報分野では競争が更に激化
- デバイス 半導体市場の成長は上半期は底這い状態、下期から回復傾向
- プリンタ カラーNIP市場は拡大するが、価格競争が更に激化

## 【為替レート的前提】

	2004年度		2005年度		
	実績レート	外貨建売上高	想定レート	外貨建売上高	*為替変動影響
USドル	108円	7.6億USドル	105円	11.5億USドル	2.3億円/1円
ユーロ	135円	5.9億ユーロ	135円	6.6億ユーロ	3.5億円/1円

\* 為替レートが1円変動することによる営業損益に与える影響(円高は損失)

# 2006年3月期 P/Lの概要

## 【比較連結P/L】

(金額単位:億円)

	05/3期 実績	06/3期 予想	差異 (増減)
売上高	6,885	7,200	315
営業利益	272	285	13
営業外収支	60	70	10
経常利益	212	215	3
特別損益	27	30	3
税引前利益	185	185	0
法人税等	73	70	3
当期純利益	112	115	3

### 連結売上高

(億円)

	05/3	06/3	差異
情報通信	3,731	3,800	69
半導体	1,507	1,650	143
プリンタ	1,377	1,500	123
その他	270	250	20

### 連結営業損益

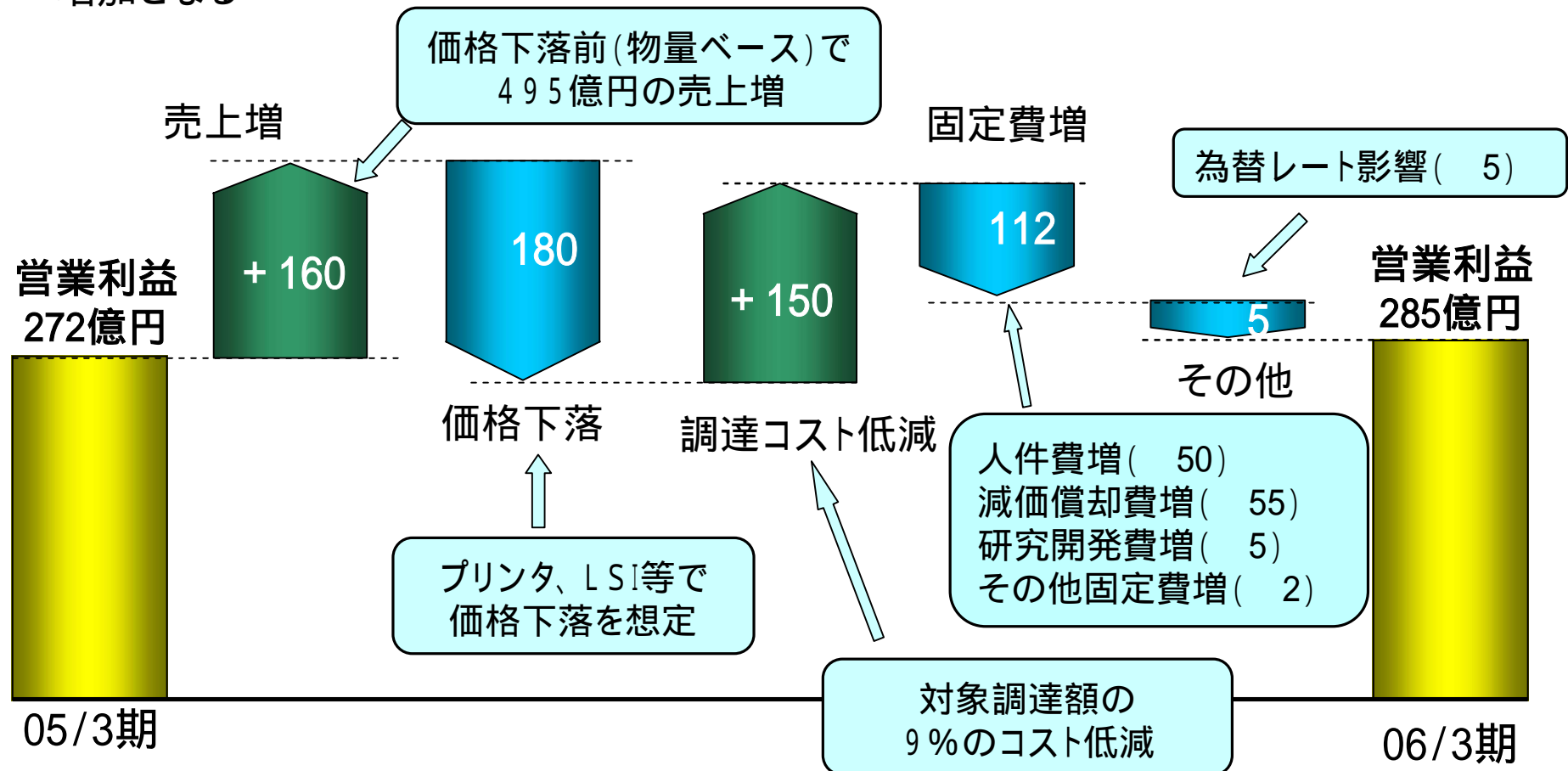
(億円)

	05/3	06/3	差異
情報通信	158	185	27
半導体	120	100	20
プリンタ	78	80	2
その他	25	25	0
本社・消去	109	105	4

# 2006年3月期 営業利益の変動分析 **OKI**

## 【営業利益13億円増益の分析】

- 売上増、調達コスト低減による増益は310億円、調達コスト低減は例年より厳しい
- 競争激化による価格下落、政策的固定費増等による減益があり、全体では13億円の増加となる



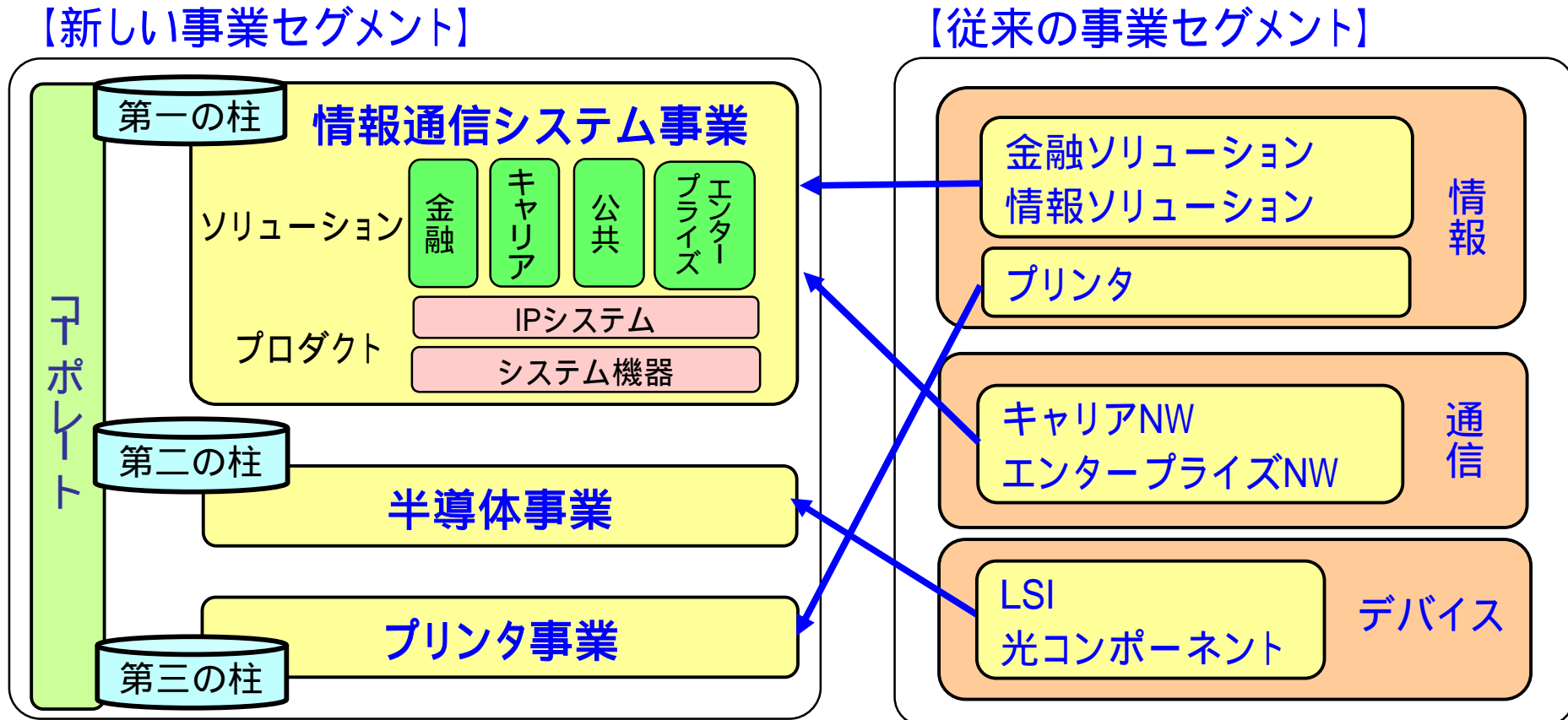
# 事業セグメントの再編

## ● 沖電気グループの事業セグメントを3つの柱に再編

第一の柱: **情報通信システム事業** 情報通信融合ソリューションへの注力

第二の柱: **半導体事業** システムLSIへの注力とファブフリーモデルの推進

第三の柱: **プリンタ事業** LED方式のカラーNIPへの注力とSIDMの収益最大化



# 事業グループ制の導入

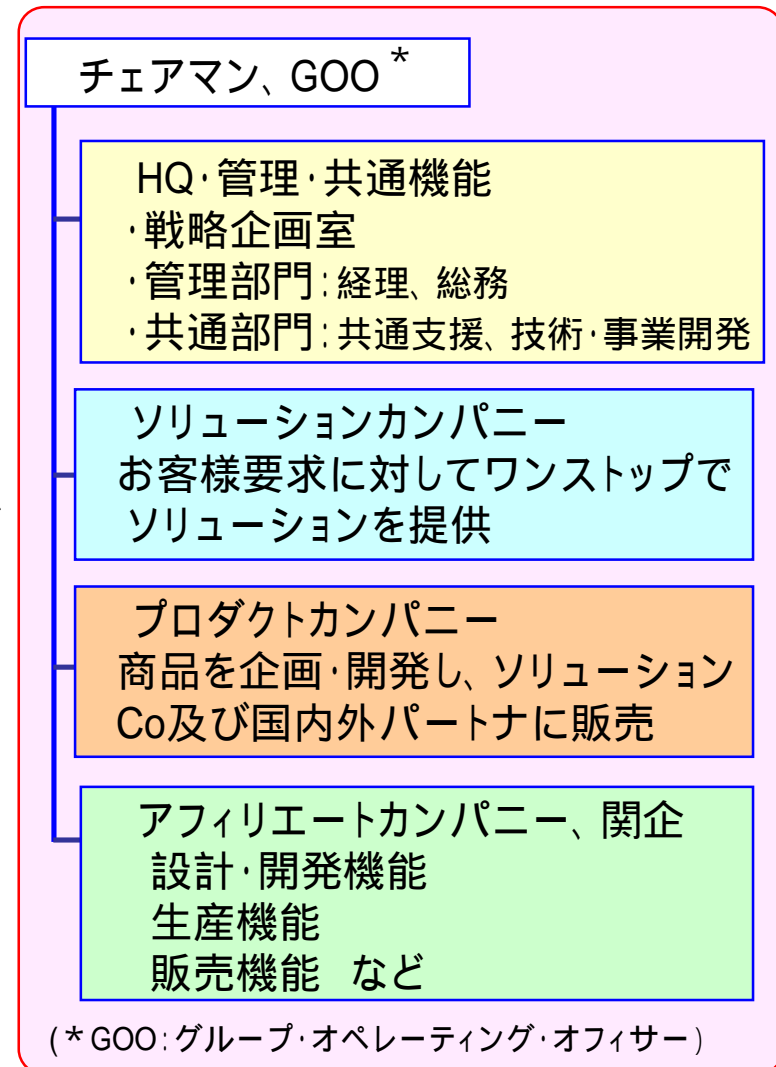
## ● 事業グループ制の導入の狙い

- 市場変化に対応した、強い事業体の構築
- 各事業の自律的運営(チェアマン/GOO)
- スピードある事業オペレーションの推進
- 特長あるビジネスモデルの確立
- グループ経営強化  
(対関連企業、事業グループ間)

## ● 「情報通信事業グループ」の狙い

- 他社にない当社の優位性(総合力、企業規模、スピード)を十分に活用する
- 情報通信融合システム・商品の積極展開
- 市場アクセス力の強化(ソリューション・カンパニー)  
金融、通信キャリア、公共(官公・自治体)、  
エンタプライズに特化、ワンストップ・ソリューション  
提供
- 商品企画・開発・間販強化(プロダクトカンパニー)  
情報通信融合商品、メカトロ商品開発強化  
間接販売力強化

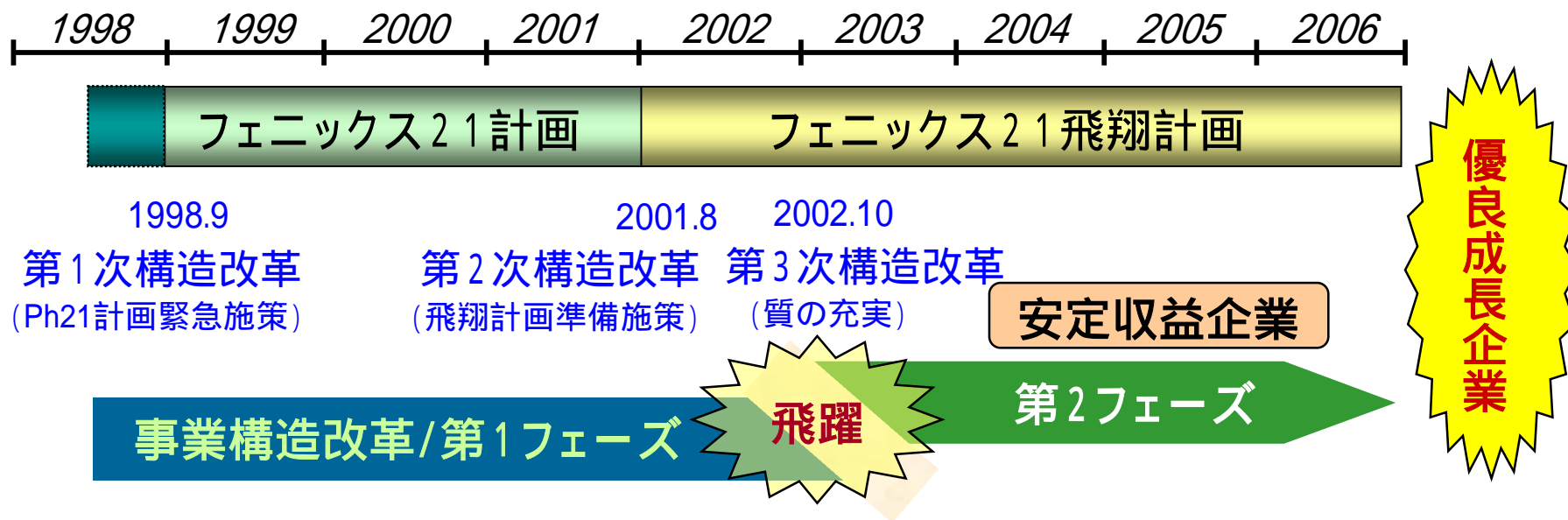
## 事業グループの基本構成



# 中期経営計画

**OKI**

優良成長企業実現に向けて、情報通信、半導体、プリンタの3事業グループは注力すべき事業領域を更に鮮明にし、商品力と販売力を強化し、必要な投資を適切に行い、事業の強みを活かし、さらなる収益力の向上を目指す



優良成長企業実現とともに世界に認知されるグローバル企業を目指す

(漢字の)「沖電気」から(アルファベットの)“OKI”へ

2010年度海外売上高比率50%を目標(2004年度約30%)

# 【情報通信システム事業】 経営目標

**OKI**

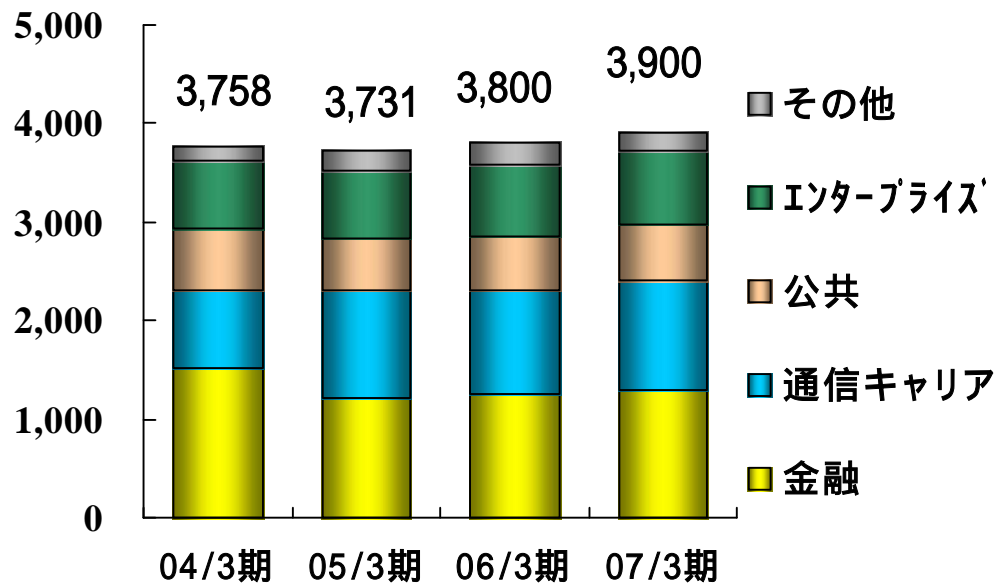
## 基本方針

- ブロードバンド・ユビキタス・ネットワーク時代のインフラからアプリケーションに亘る領域で事業展開
- 業種別にAP@PLATベースの情報通信融合ソリューションの創出と拡販強化
- ミドルメカトロニクス、金融ITシステム、キャリアNWシステム、企業NWシステム、メディアNWアプライアンス等の世界一流商品の創出と国内外での拡販

## 目標数値

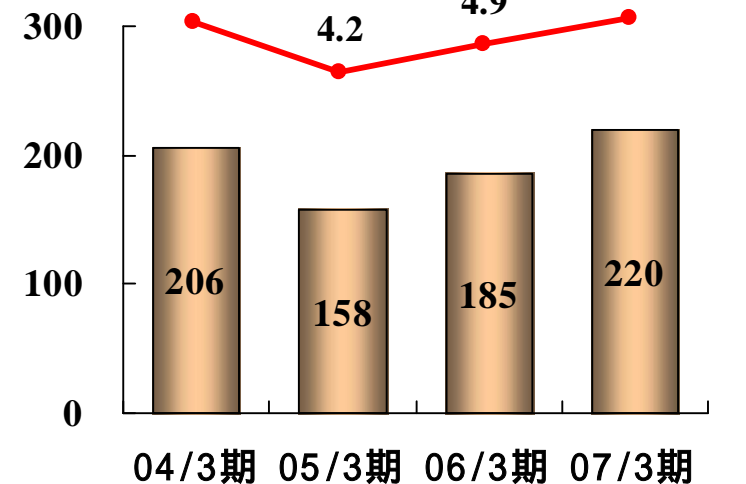
(億円)

### 売上高目標



### 営業利益(率)目標

(億円)

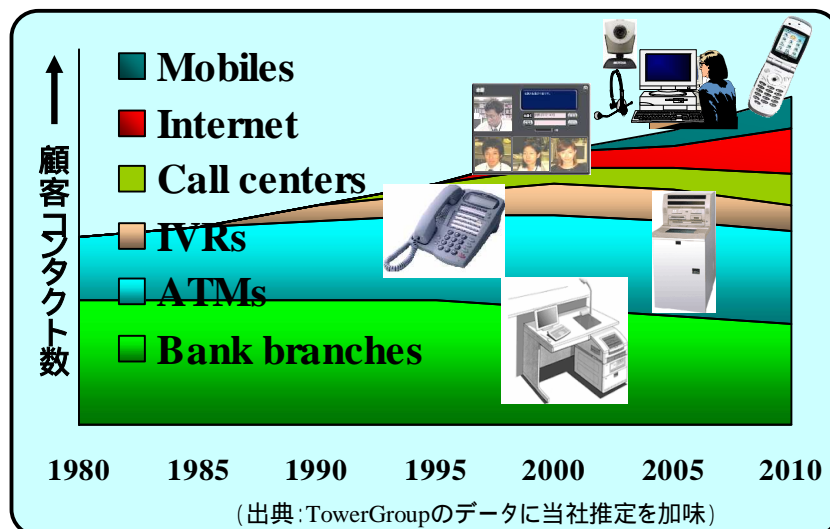


## 市場動向

- リテールサービスチャネルの多様化
- 規制緩和による取扱商品の拡大
- 個人情報保護法や偽造カード対策のためのセキュリティ強化
- 継続的事務の効率化/経費圧縮
- 付帯業務のアウトソーシング
- 海外ATM市場の成長

## 事業戦略

- CTI、Web連携、モバイル対応の情報通信融合ソリューションの充実
- e金融システムの強化(e決済、Edy対応、金融機関接続システムなど)
- ICカード、生体認証機能付きATM
- 事務集中処理システムのラインナップ強化
- ATM集中監視、トータルネットワークサービス等アウトソーシング事業強化
- 中国市場向けATM事業強化



## 多機能ATM ATM-BankIT(バンキット)



【3月23日ニュースリリース】

ICカード・各種生体認証等に対応し  
セキュリティを強化したATM

高信頼性と低コスト運用を実現

快適な操作性も提供

新サービスへの拡張にも柔軟に対応

## e社会において「安心」をお届けする沖の金融ITソリューション

国内シェアNo.1のコールセンタと  
BB-IP技術で提供する  
**情報通信融合ソリューション**



セキュリティとネットワークで  
信頼と安心を提供

優れたイメージ処理技術と  
実績(シェアNo.1)のある  
**事務集中処理システム**

為替  
イメージ処理

投信  
イメージ処理

諸届  
システム

外為等の  
その他汎用エントリー

eビジネスやモバイルに対応した  
**e金融システム**



モバイル金融  
ATM連携  
窓口混雑緩和  
紹介/予約

e決済  
Web連動振込  
サービス等

Edy  
Edyチャージ  
Edyギフト

豊富な実績と個人情報保護法や  
偽造カード対策に対応した  
**ATMや営業店システム**

高い安全性

- ・ICカード対応標準装備
- ・各種生体認証対応

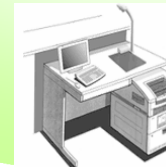
高い信頼性

- ・媒体ハンドリングの向上

ATM監視



営業店端末



コンサル  
ステーション



顧客受付  
システム

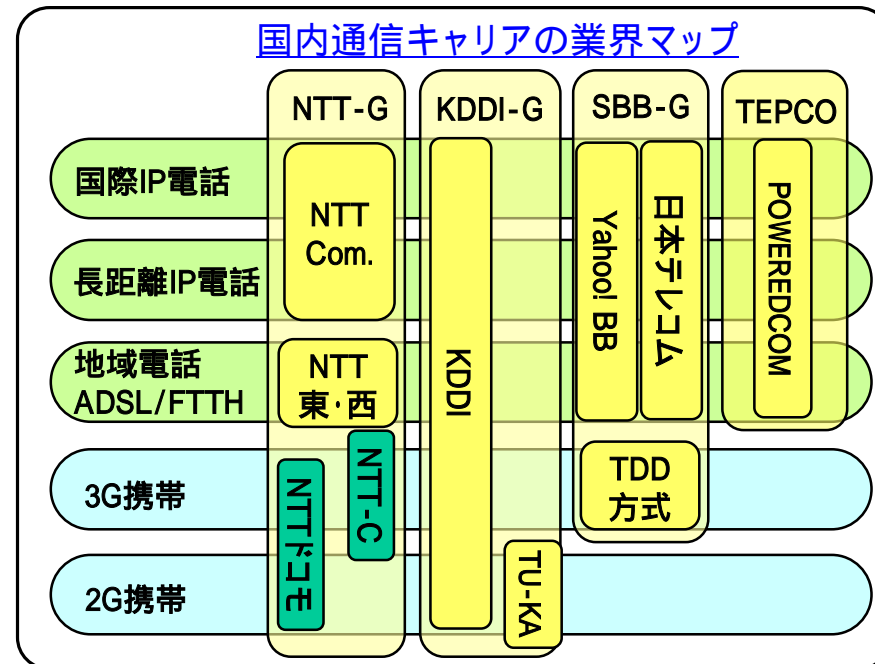
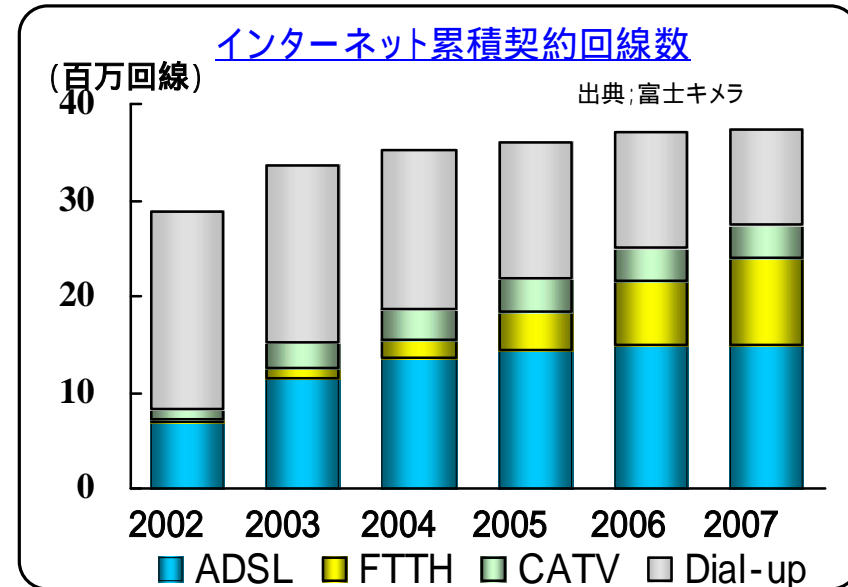


# 通信キャリア市場(1)

## 市場動向

- **ブロードバンドアクセス市場の拡大**
  - ADSL頭打ち、FTTH急増
- **光IP電話サービスへの移行**
- **All-IP化に向けた計画の具体化**
  - NTT-G: 光3千万加入とNWマイグレーション計画
  - KDDI-G: サービス統合網計画
    - au、DION、光プラス、VPN
- **加入者争奪戦が激化**
  - KDDI-G、SBB-Gの固定電話直収サービス参入
- **各種サービス提供開始**
  - 企業向けIPセントレックスサービス
  - 固定・移動電話融合(FMC\*)サービス
    - NTTモバイルセントレックス
    - KDDI OFFICE WISE
  - 映像など新たなアプリケーションサービス

(\*FMC; Fixed Mobile Convergence)



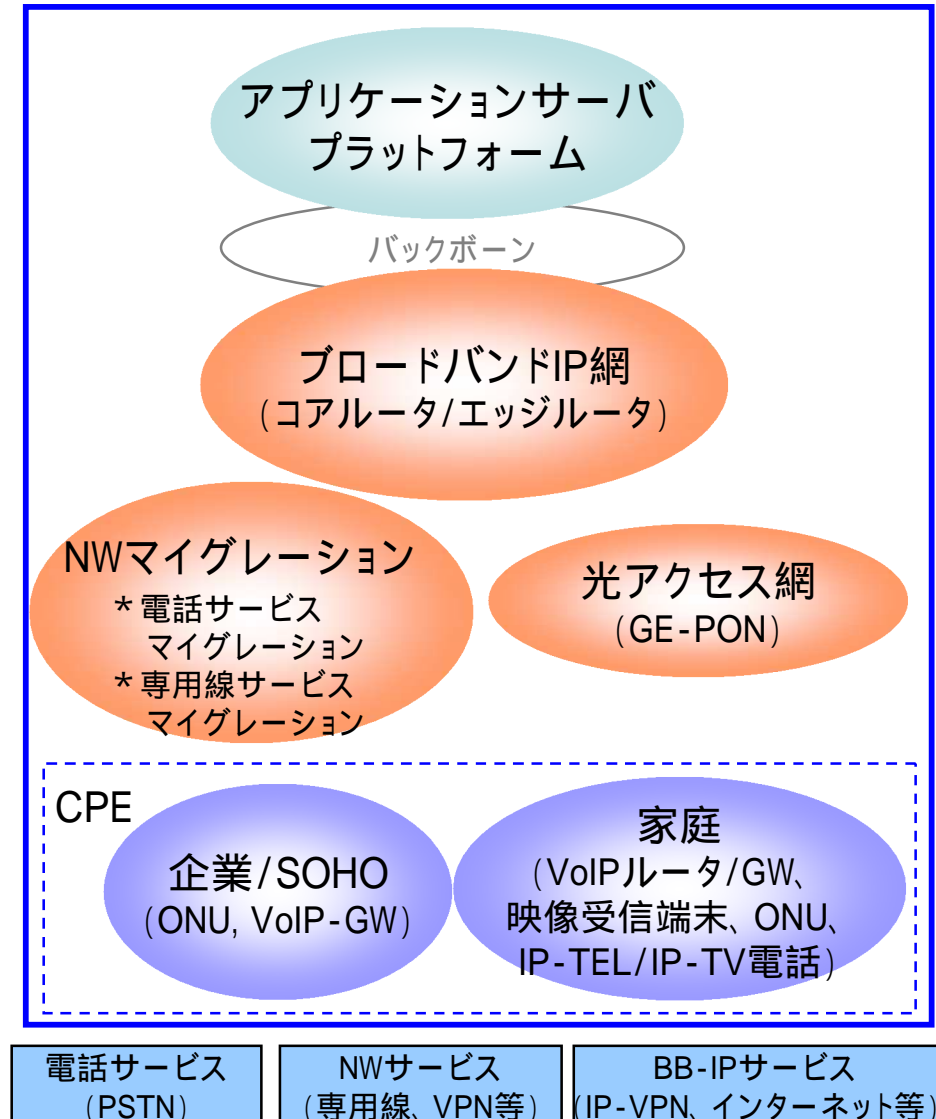
## 沖の強み

- コア技術・ノウハウの保有
  - 光アクセス: GE-PON等のシステム技術、光部品技術
  - CPE市場: CPE等のプラットフォーム技術(映像・光・VoIP)
  - NWマイグレーション: 既存NW技術、IP/サーバ技術

## キャリア別事業戦略

- 既存商品の収益の最大化と、次世代新サービス・商品の創出強化
  - NTT-G: 現行サービス・NW商品の拡販、次世代IP網向け新商品の創出
  - KDDI-G: CDN網向けの売上拡大、固定 / 移動統合網への参入
  - SBB-G: 新サービス・インフラ領域へのソリューション提供の拡大

## 注力領域



## 市場動向

### ■ e-Japan 戦略 の本格展開

#### 官公庁

- 電子政府構築計画でのEA導入
- 行政機構改革によるシステム更新の見直し

#### 自治体

- 市町村合併に伴うITシステム導入が進展
- 防災対策強化、無線デジタル化の推進により更新需要が拡大

#### ITS

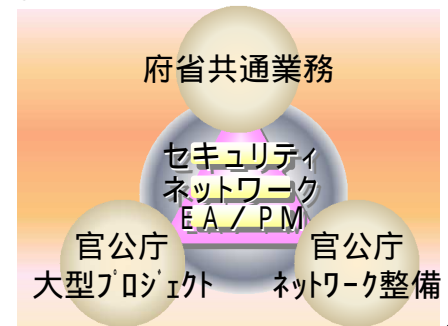
- 「セカンドステージの展開シナリオ」を推進
- 官民による多様なサービスが拡大

## 事業戦略

### e行政ソリューション

セキュリティとネットワークを核に  
e行政ソリューションを展開

- 府省共通業務  
(人事給与システム等)
- 官公庁ネットワーク整備
- 大型プロジェクト



### 防災ソリューション

情報通信融合領域での持続的成長

- 防災情報システム
- 消防デジタル無線
- 地上波デジタル放送の活用



### ITSソリューション

ETC、VICS等道路交通の高度化  
によるITS関連システムの展開

- 車々間通信システム
- 位置情報サービス
- DSRCゲート・お客様情報連携
- 自律的移動の支援システム



システム中心のお客様とPBX中心のお客様への相互深耕

## 市場動向

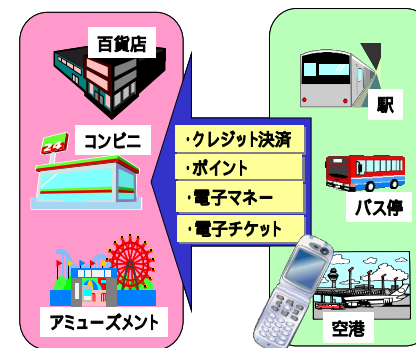
- 製造業
  - 業種毎に好不調ある中、自動車関連、機械等は引き続き堅調
- 運輸業
  - 鉄道業界の自動化投資は堅調
  - 航空業界は市場回復傾向
- 流通サービス業
  - 多店舗・複合店舗化等、差別化競争激化
  - アミューズメント・電子商取引は順調

## 事業戦略

### 決済 & セキュリティソリューション

「安心」を核にICカード決済、電子チケット等で、お客様コア事業と新規サービスの連携を支援

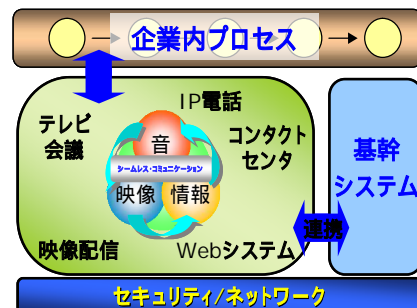
- 統合決済
- ICカード
- 個人認証
- モバイル決済
- ポイント 等



### トリプルプレーソリューション

「臨場感ある音・映像・情報」を融合し、エンドユーザ、工場、設計、保守等との連携強化による「プロセス効率化」を支援

- 工場向け
- 営業・保守支援向け 等



### 現金管理ソリューション

金融ノウハウを活かし、高セキュリティ・高効率なソリューションを流通市場に展開

- 店舗内売上金 / 釣銭(両替金)等の現金管理
- 多店舗共同利用

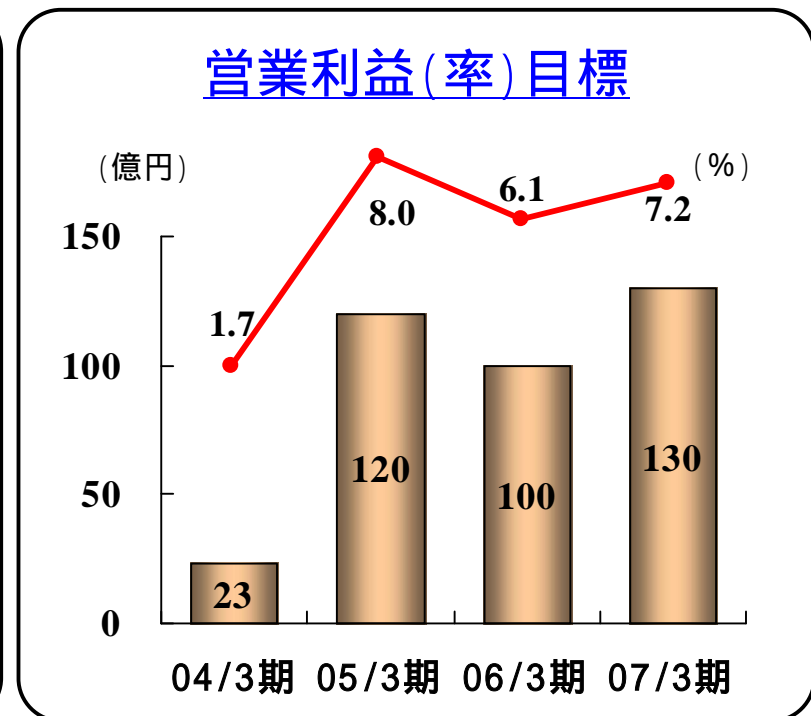
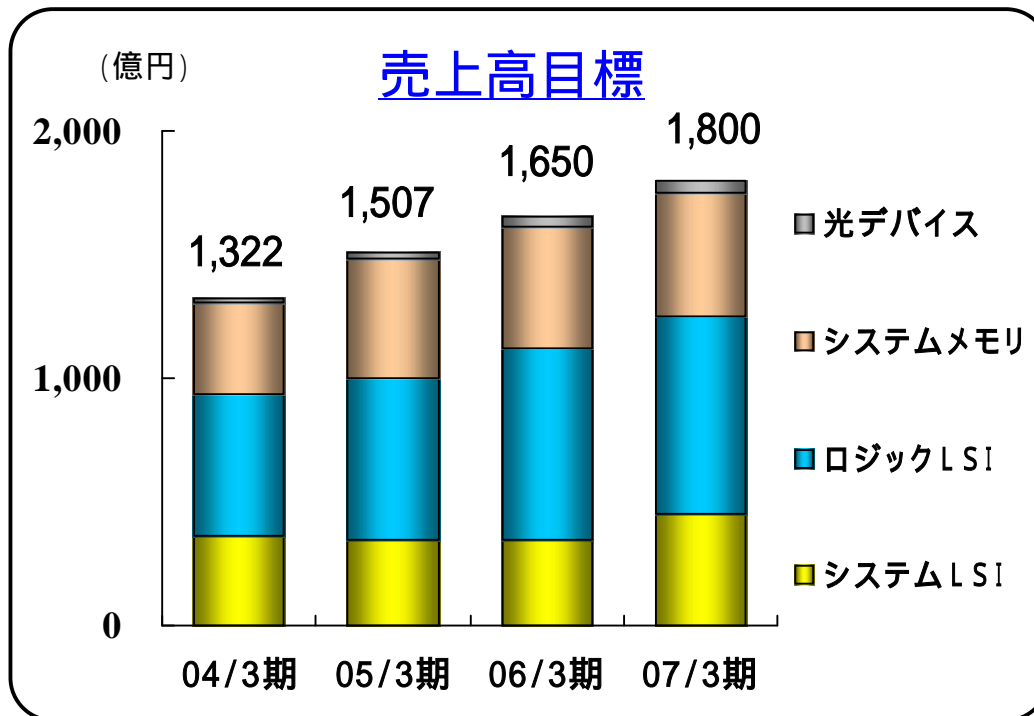


# 【半導体事業】経営目標

## 基本方針

- パーソナル&モバイル市場中心にシステムLSI等の高付加価値事業を展開
- ファブフリー戦略(ファブレスと垂直統合組合せ)、パートナーシップ戦略により世界一流の商品創出力、開発スピード、生産フレキシビリティ等を強化
- 特徴ある差別化技術の拡大(低消費電力・高耐圧・SOI/SOS・デジアナ混載)

## 目標数値

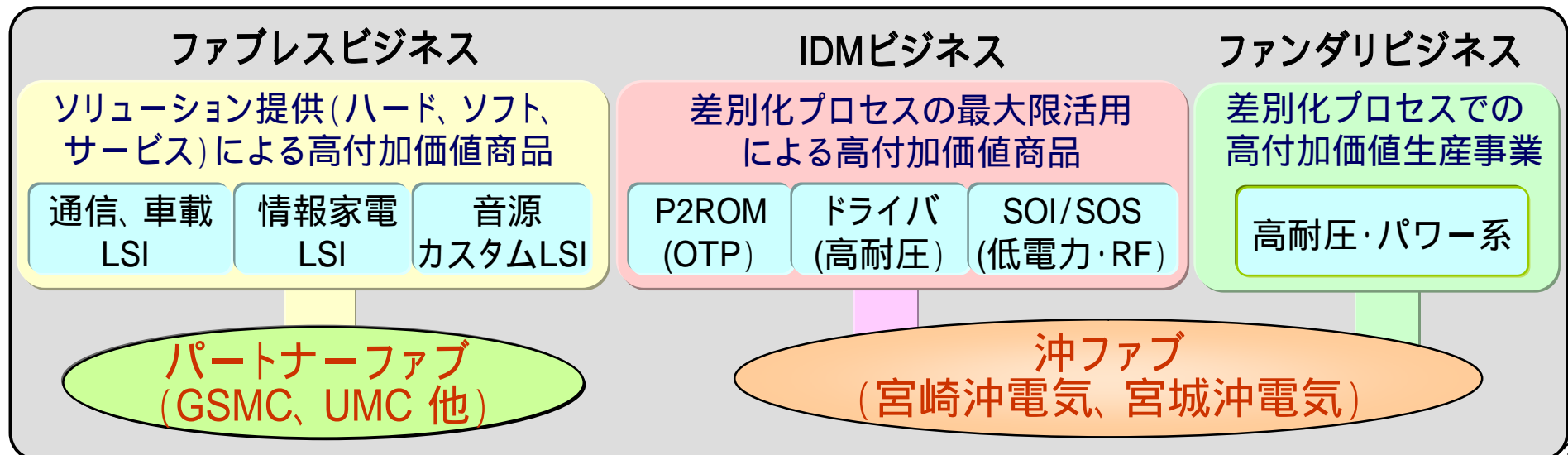


# 半導体事業戦略

OKI

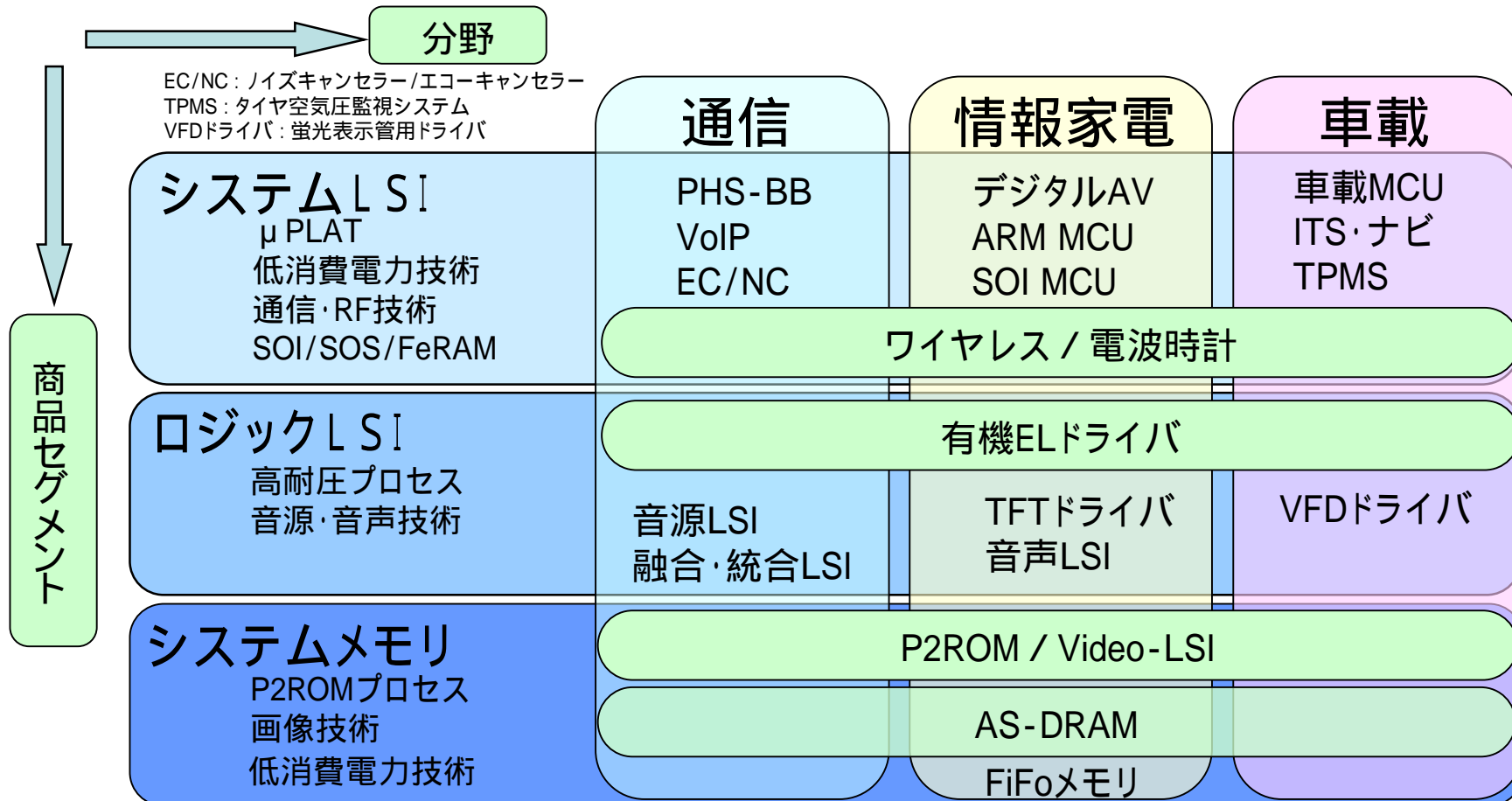
- パーソナル・モバイル市場のうち、特に通信・情報家電・車載の3分野に注目したマーケティング、商品開発活動を展開
- 05 - 06年度は、特に需要が活発・堅調な下記アプリケーションに対して、優位性の高い商品を提供し、成長率(CAGR)9%の事業拡大を見込む
  - 注力アプリケーション：FPD、アミューズメント、無線、車載
  - 注力商品：TFTドライバLSI、P2ROM、PHSベースバンドLSI、音源LSI、ZigBee LSI、蛍光表示管ドライバ、有機ELドライバ
- 商品の高付加価値化とコストの作りこみで収益力低下を阻止
- ファブフリー戦略により、スピーディかつ柔軟に、開発・生産活動を展開

## 【沖電気のファブフリー戦略】



# 商品セグメント

- 差別化技術(システム、回路、ソフト、プロセス等)をベースに3分野 & 3商品セグメントでバランスのとれた事業展開
  - システムLSI 顧客、パートナーと協働して、高い市場付加価値を創出
  - ロジックLSI 得意プロセス・開発力でドライバを中心に売上拡大と安定収益
  - システムメモリ 得意プロセス・開発力でP2ROMを中心に売上拡大と安定収益



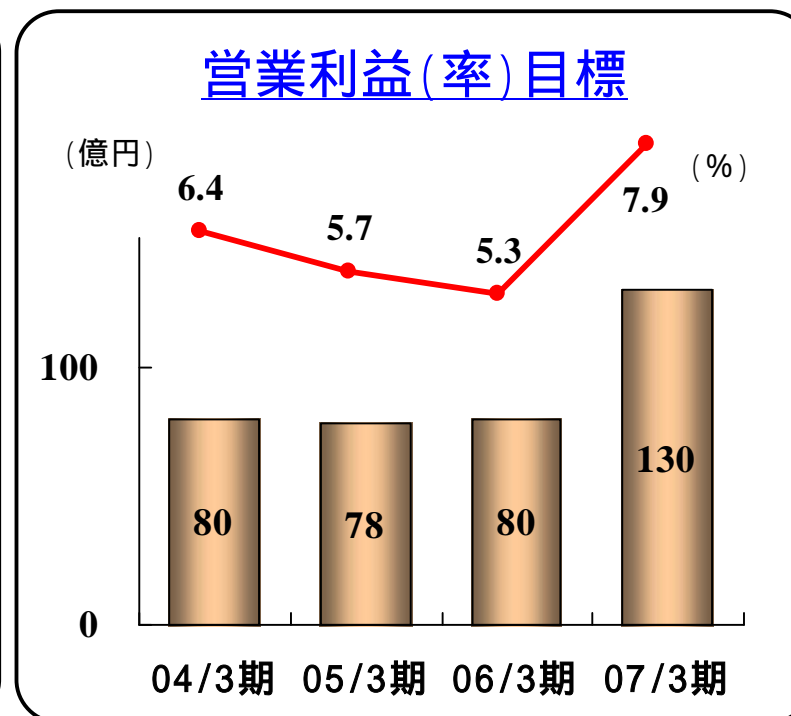
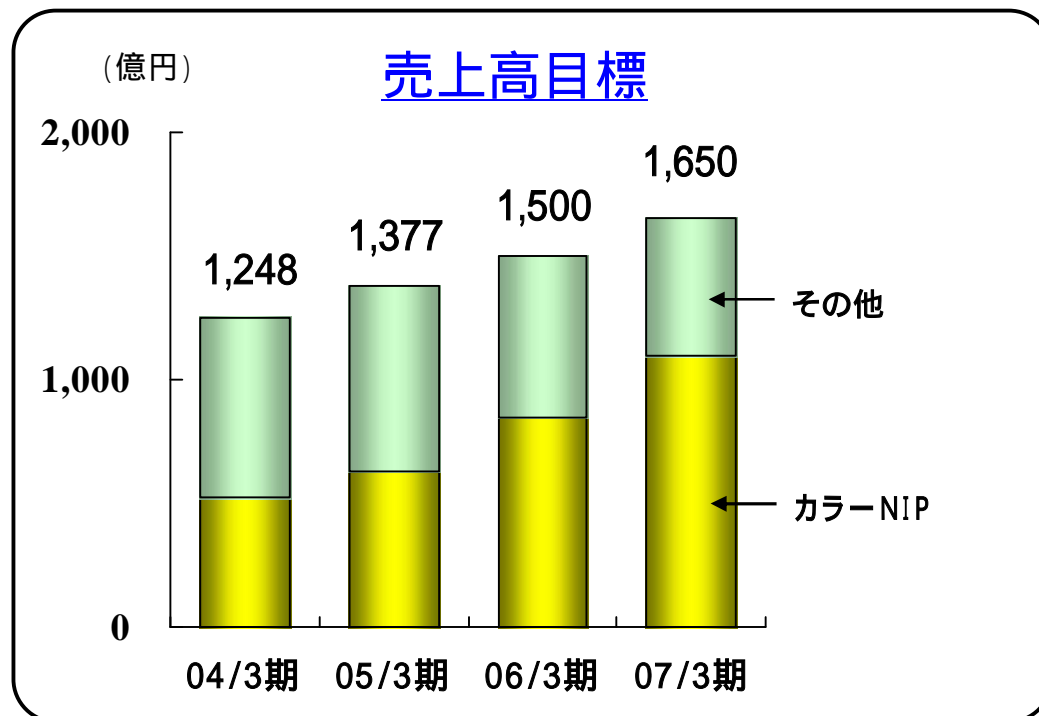
# 【プリンタ事業】経営目標

**OKI**

## 基本方針

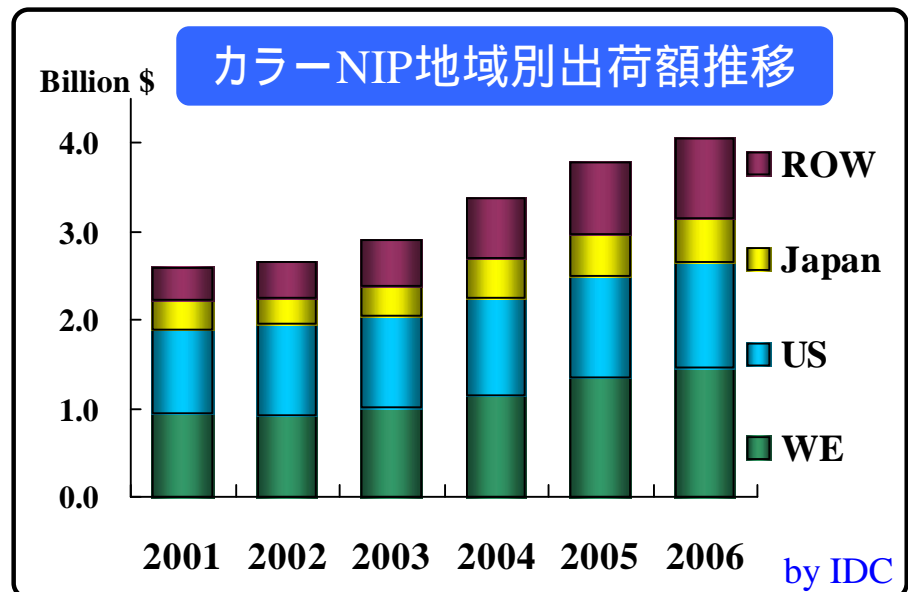
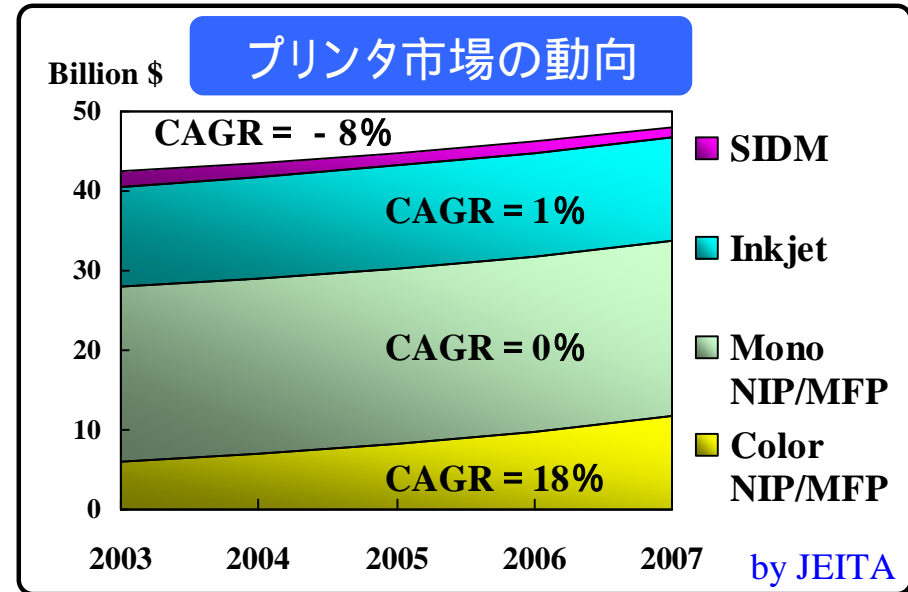
- 「OKI」らしい商品力で、各市場戦略を明確にしたグローバル事業展開
- カラーNIPは小型・高速の商品競争力強化(開発TAT、タイミング、品質、コスト等)を軸に、本体・消耗品事業の販売力強化により世界シェア第2位を獲得
- SIDMの事業再整備による商品拡充とシェア拡大、収益の最大化

## 目標数値



# プリンタ市場動向

- カラーNIP/MFPは年率 18%の成長  
(本体出荷高ベース)  
カラーNIPの普及率はCY2004に16%を超え  
CY2005以降急成長フェーズに入る  
(普及率16%の論理:E.M.ロジャース)
- カラーNIP市場は本体の低価格化が進み  
出荷数量ベースでは年率40%の伸び
- カラーNIPはタンデム方式(OKI方式)化が  
進みCY2002には50%を超えた
- SIDMの市場規模は縮小傾向にあるが特  
定業務を中心に安定、中国市場は拡大



## ● 目標

- 半導体ベースのLEDタンデム・シングルパス技術を用いた最高級の価値を世界のお客様にお届けする
- 2006年度出荷台数シェア20%を目標

## ● 施策

- お客様の満足度向上を最優先に提供
- 世界最高の価格パフォーマンス商品の提供
- LED技術による高解像度、スピードで優位性継続
- 低コスト、高品質生産能力の確立
- 長期的に高い相互信頼あるチャネルパートナーシップの構築
- グローバルサービス体制の構築



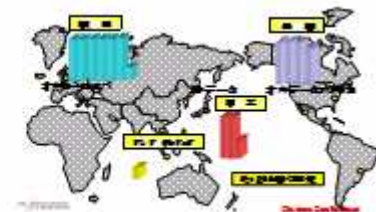
高解像度/低コスト  
/高品質のLED技術



LED技術+シングルパス  
によるハイスピード



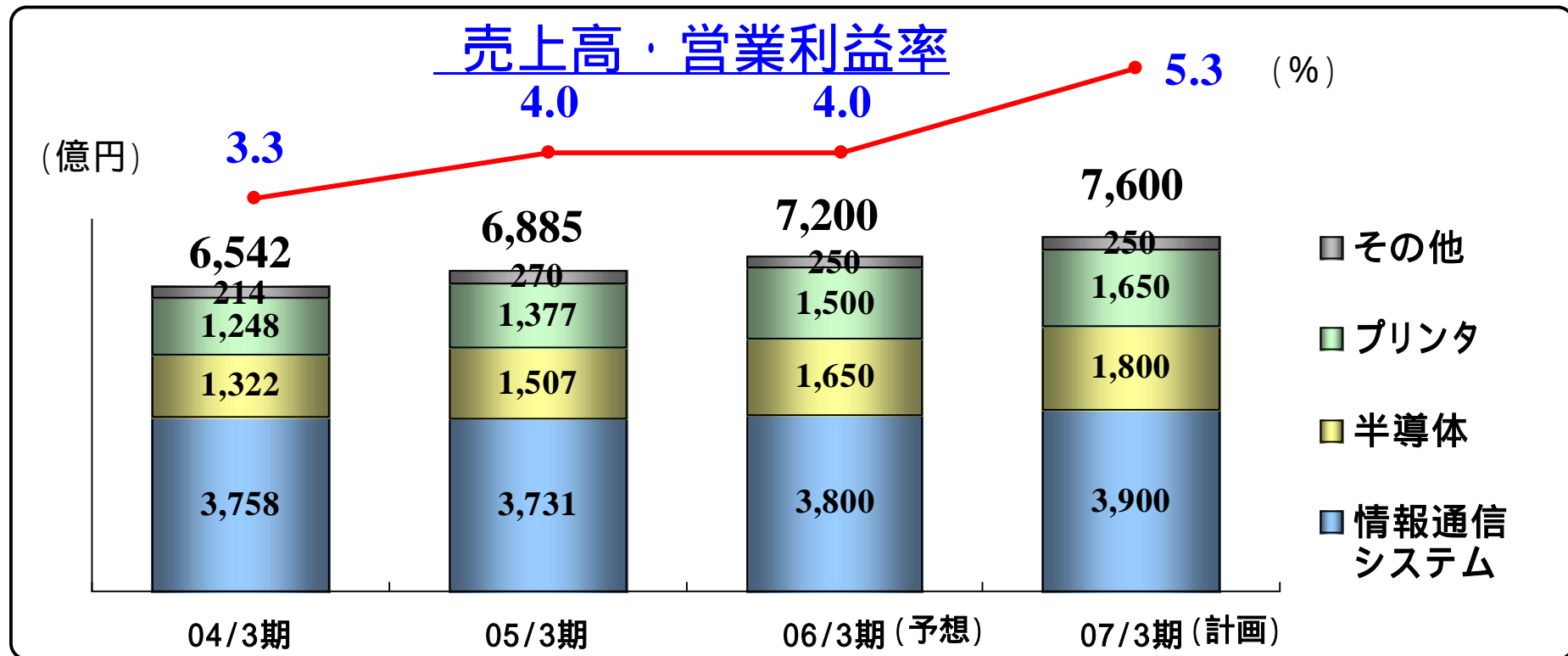
グロ - バルサプライチェーン  
グローバル生産体制



世界120カ国への  
チャネルパートナーシップ  
グローバルサービス体制

# 中期経営目標

**OKI**



	04/3期実績	05/3期実績	06/3期予想	07/3期目標
売上高	6,542億円	6,885億円	7,200億円	7,600億円
営業利益	216億円	272億円	285億円	400億円以上
当期純利益	13億円	112億円	115億円	200億円以上
ROE	1.2%	9.0%	8.5%	13%以上
D/Eレシオ (Net)	2.1倍	1.7倍	1.5倍	1.1倍以下

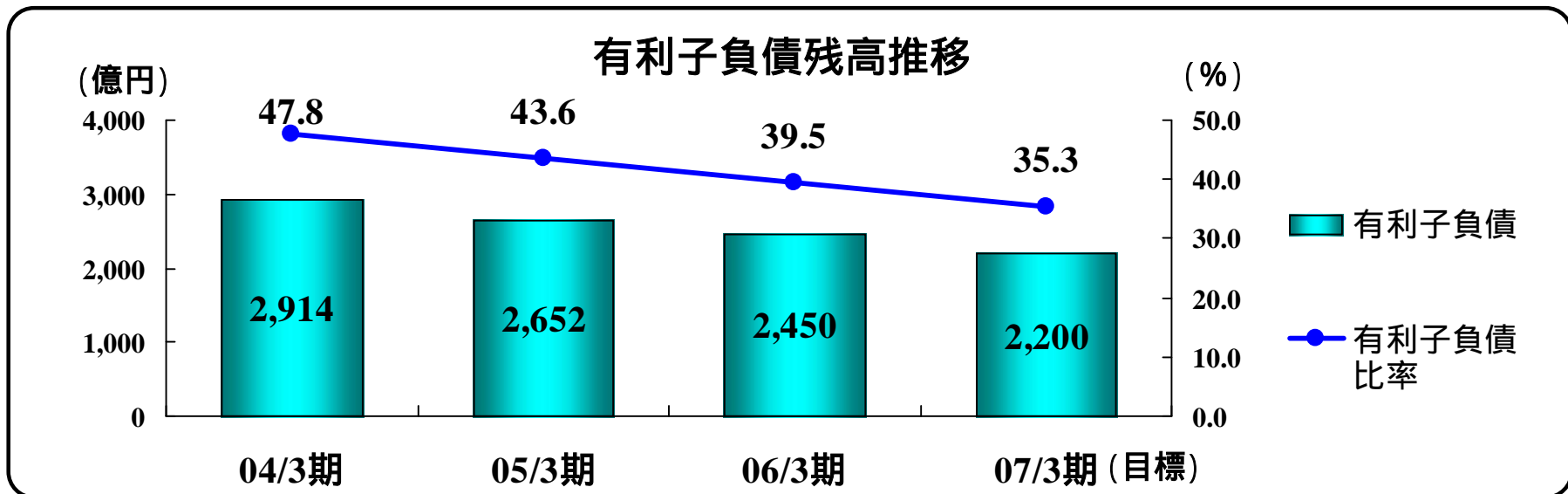
2006年度の中期目標達成のために  
2005年度中に以下の施策を確実に実行する

- 3事業グループの自律運営の定着
- コーポレートのグループ経営機能の強化と関連企業の役割点検
- 情報通信融合システム及び商品の開発と拡販
- 各事業グループの戦略事業体(SBU)の収益力強化
- 競争力ある主要新規商品開発の強化と新規事業の創出
- 財務目標(FCF、有利子負債比率、ROE等)の達成
- グローバル企業「OKI」のイメージ確立活動の推進
- CSR活動及びコンプライアンスの強化

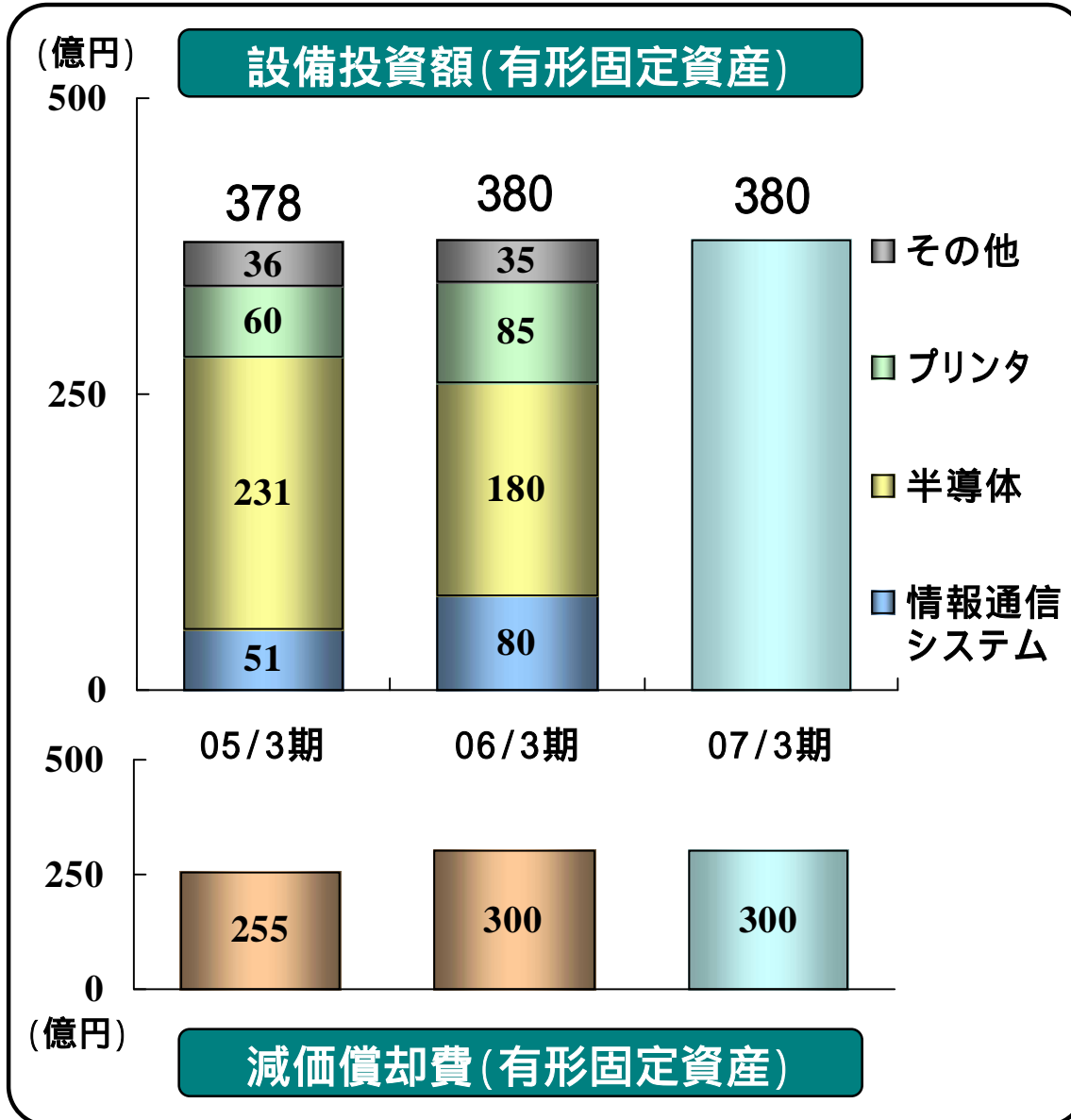
# 財務指標

- キャッシュ・フローの最大化と有利子負債の圧縮が重要な経営課題
  - 07/3期の有利子負債比率を40%以下に圧縮

	04/3期	05/3期	06/3期	07/3期
営業キャッシュ・フロー	923	593	680	720
投資キャッシュ・フロー	192	415	480	450
フリー・キャッシュ・フロー	731	178	200	270
財務キャッシュ・フロー	435	269	220	270
現金同等物の残高	581	494	474	474



# 設備投資計画



## 設備投資の主な内容

(06/3期)

### 【情報通信システム】

- ・次期金融端末開発設備
- ・GE-PON製造設備
- ・鉛フリー製造設備

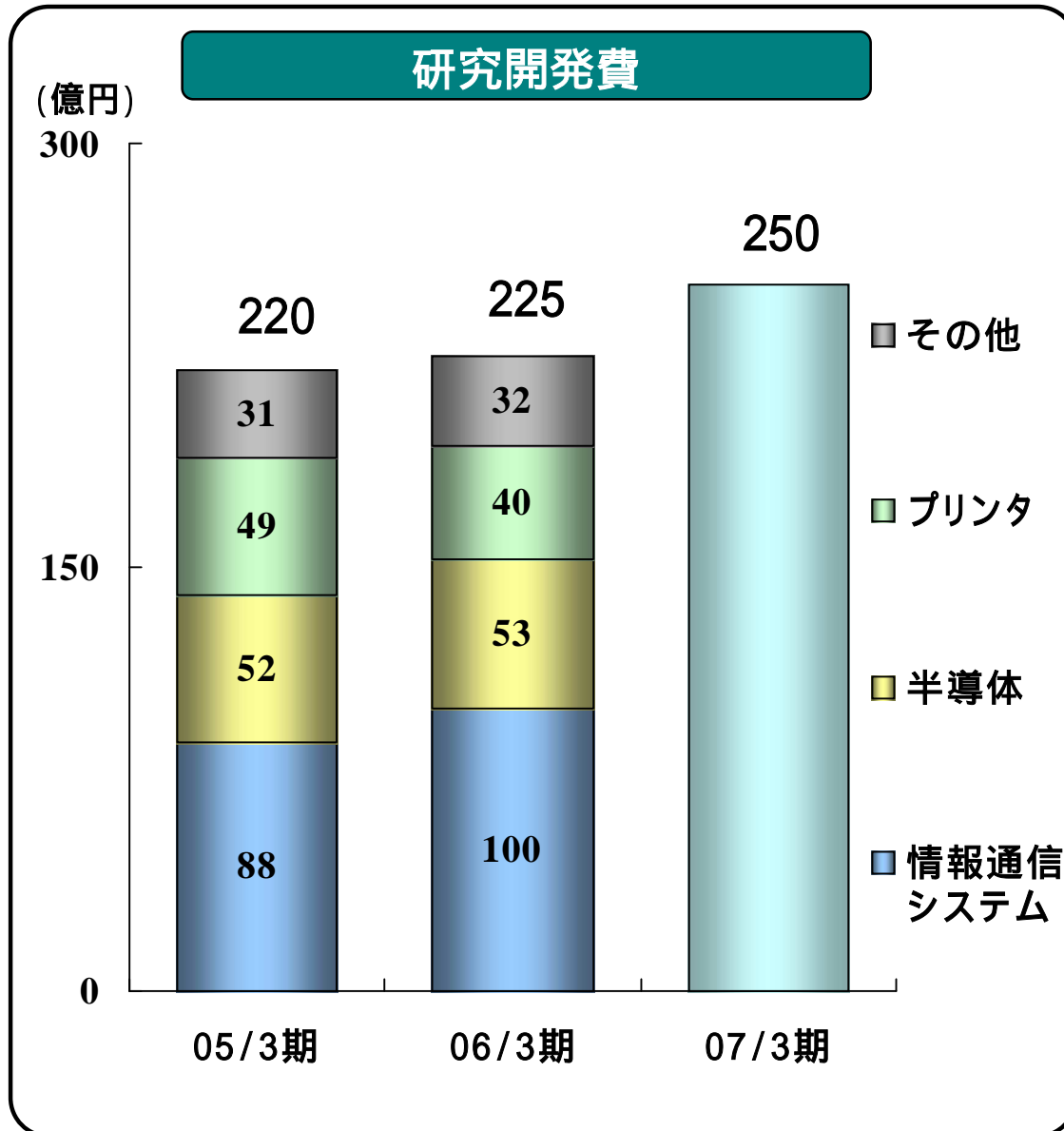
### 【半導体】

- ・宮城工場(S2棟)生産性向上/増産投資
- ・宮崎工場(M3棟)ドライバLSI(高耐圧プロセス)増産投資

### 【プリンタ】

- ・新商品製造設備(金型等)
- ・鉛フリー製造設備

# 研究開発投資



## 研究開発投資の主な内容

(06/3期)

### 【情報通信システム】

- ・次世代金融システム開発
- ・統合認識処理技術開発
- ・情報通信融合新商品開発

### 【半導体】

- ・通信/無線関連システムLSI開発
- ・大型TFTドライバ低コスト化
- ・大容量P2ROMの新商品開発

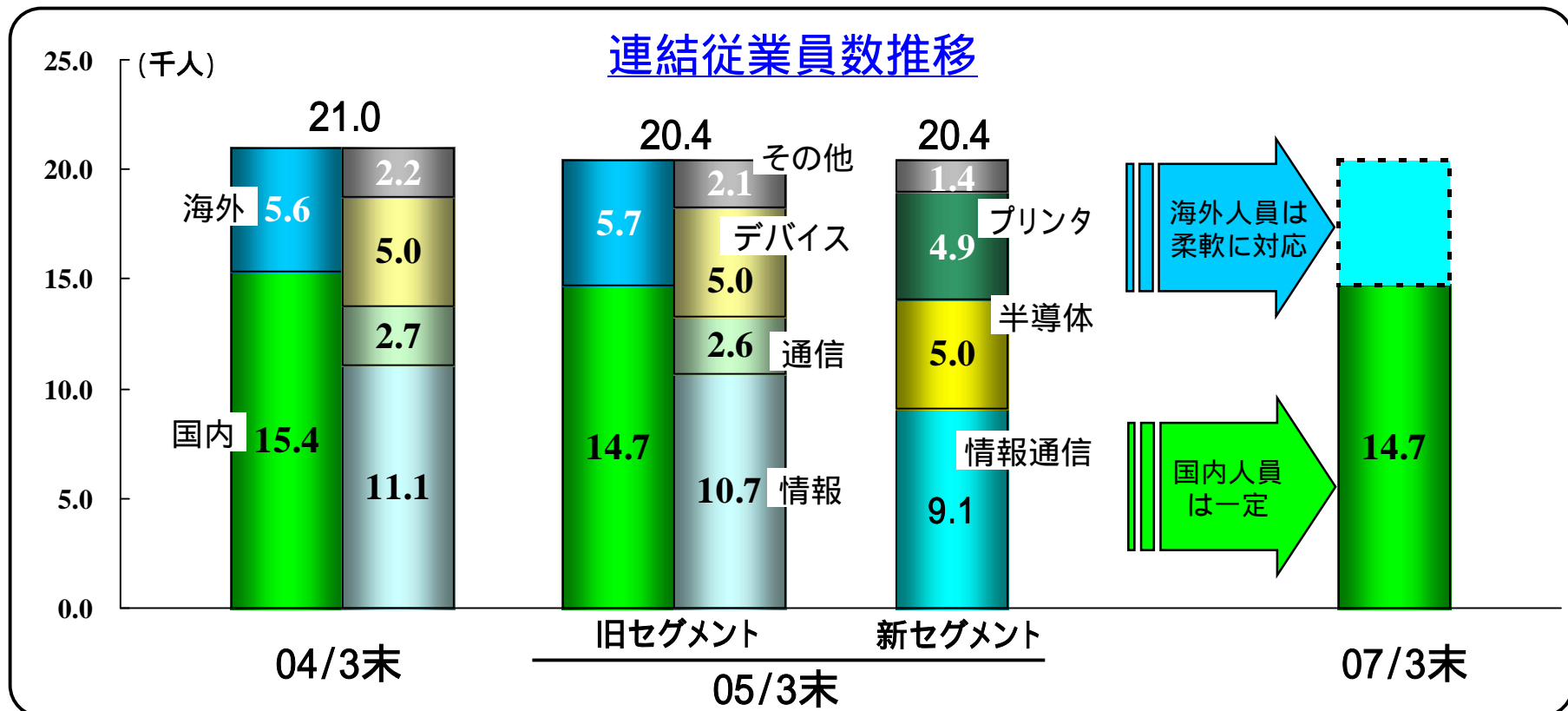
### 【プリンタ】

- ・カラーNIP新商品開発  
(高速機、MFP)
- ・低コストSIDM(水平プリンタ)

# 人員計画

## 【主要人事施策】

- 07年3月末までは国内人員は一定
- 海外は事業展開に応じ柔軟に対応(開発設計、ソフト、マーケティングは強化)
- キャリア採用による技術力・マーケティング力向上の加速
- 開発設計・SEの強化、間接部門の効率アップ



# 用語集

**OKI**

P5	FCF	Free Cash Flows	GW	Gateway
	CB	Convertible bonds	PSTN	Public Switched Telephone Network
P8	IP	Internet Protocol	P20	EA
	LCD	Liquid Crystal Display		Enterprise Architecture
	LSI	Large Scale Integration		ITS
	P2ROM	Production Programmed Read Only Memory		Intelligent Transport System
	SI	System Integration		PM
P9	FTTH	Fiber To The Home		Project Management
	IT	Information Technology		ETC
	NIP	Non-Impact Printer		Electronic Toll Collection
P12	LED	Light-Emitting Diode	P21	VICS
	SIDM	Serial Impact Dot Matrix		Vehicle Information Communication System
	NW	Network	P22	PBX
P13	HQ	Headquarters		Private Branch eXchange
	Co	Company		SOI
P14	Ph21	Phoenix 21		Silicon on Insulator
P16	ATM	Automated Teller Machine		SOS
	IVR	Interactive Voice Response	P23	FPD
	CTI	Computer and Telephony Integration		Flat Panel Display
P17	BB	Broadband		TFT
P18	ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line		Thin Film Transistor
	VPN	Virtual Private Network		PHS
	CATV	Cable Television		Personal Handy-phone System
	TDD	Time Division Duplex		EL
P19	GE-PON	Giga-bit Ethernet Passive Optical Network		Electro Luminescence
	CPE	Customer Premises Equipment		IDM
	VoIP	Voice over Internet Protocol		Integrated Device Manufacturer
	CDN	Contents Delivery Network		OTP
	SOHO	Small office / Home office	P24	One Time Programmable
	ONU	Optical Network Unit		RF
				Radio Frequency
			P25	FeRAM
				Ferroelectric Random Access Memory
				AV
				Audio Visual
				MCU
				Microcontroller
				AS-DRAM
				Application Specific Dynamic Random Access Memory
				FiFo
				First-in First-out
			P26	TAT
				Turn Around Time
				ROW
				Rest Of World
			P29	MFP
				Multi Function Printer
				SBU
				Strategic Business Unit
				CSR
				Corporate Social Responsibility
			P33	SE
				System Engineer